13章 救急救命処置の技術

一次救命処置（basic life support：BLS）

（本文 p.231～238）

評価項目	回数・日付	評価	MEMO
① 傷病者の反応・呼吸の有無を確認することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
② 傷病者の心肺蘇生の必要性をアセスメントすることができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
③ 119番通報または院内EMSシステムの出動を要請することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
④ 傷病者の循環のサインを確認することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑤ 胸骨圧迫を行うことができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑥ 頭部後屈顎先挙上法（頤挙上法）で気道を確保することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑥′ 下顎挙上法で気道を確保することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑦ 傷病者の呼吸を評価することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		

⑧ 口対口人工呼吸法を行うことができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑨ 胸骨圧迫と人工呼吸をセットにし繰り返すことができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑩ AED（自動体外式除細動器）を操作することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑪ AED施行直前には声をかけ，必ず人が触れていないことを十分確認することができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		
⑫ 除細動が1回終了するごとに，2分間のCPRを行うことができる．	1（ / ）		
	2（ / ）		
	3（ / ）		

※友だちや患者さんから言われたことも書いてみよう（評価した人も書こう）．

memo